



「ふるさとづくり計画」を進めたいきます!

三方よし! 近江日野田舎体験推進協議会では、国の農山漁村(ふるさと)地域力発掘支援モデル事業の採択を受け、今後5年間の取り組みを「ふるさとづくり計画」としてまとめました。今回は、その内容をお知らせします。

ふるさとづくりのテーマ

「三方よし! 近江日野 田舎体験」

日野町におけるふるさとづくりのテーマを、「三方よし! 近江日野 田舎体験」としました。

業と、体験型観光による持続可能な地域づくりを地域の将来像として描いています。

三方よし! 近江日野田舎体験推進協議会 ふるさとづくり計画「ふるさとづくりの目標(5年後)」

- 体験型観光による観光入込客数 6,000人(現状: 100人 ※観光施設除く)
- 体験プログラム数 30プログラム
- 民泊受入家庭数 50軒(現状: 7軒)

農業センサス数値

調査年	農家戸数(戸)	耕地面積(a)
平成7年	1,851	191,522
平成12年	1,671	182,986
平成17年	1,511	169,925

取り組みの必要性

町の基盤的産業である農業は、収益の減少や農業者の高齢化、後継者不足、さらには野生獣による農作物被害などにより農家戸数が10年で18%、耕地面積が11%減少するなど、取り巻く環境は厳しいといえます。こうした状況は他の分野においても同様と考えられます。

このことから、田植えや稲刈り、野菜づくり、伝承料理

づくり、特産品づくり、エコ・ツアーなどの体験プログラムを観光商品として整備し、新たな観光の流れをつくり、農林工業等、地域の振興策にしていかなければならないと考えています。

また、社会では、人の生命がいとも簡単に失われていく悲しく悲惨な事件が後を絶たず、青少年が被害者、あるいは、加害者となる事件も多くあり、社会のひずみを感じずにはいられません。体験教育旅行(修学旅行)の受け入れにも積極的に取り組み、青少年の健全育成と、訪れる側、迎える側、双方の心が高まる旅の提供をしていくことの必要性を強く感じています。



▲豊かな地域の資源



取り組みの内容

今回策定した「ふるさとづくり計画」の目標達成に向けて、今後5年間で次の事業に取り組みます。

- ① 体験型観光に取り組む意義についての意識醸成活動に取り組みます
 - ② 地域資源を活かした体験プログラムの構築と受入体制の整備に取り組みます
 - ③ 旅行者者、学校関係者等に対する営業活動を行います
- ※取り組み事業は、毎年見直します。

ふるさとづくり計画の実行により、観光振興だけでなく、地域に活力をもたらす「地域振興策」として、積極的に取り組んでいきます。

民泊体験

去る9月13日、14日の1泊2日で「秋の実り収穫と農家民泊体験」を行いました。

参加者は、13日の午後に来町後、受入家庭と対面。それぞれの民泊家庭に分かれ、深山口では、深山口日野菜原種組合指導のもと、日野菜の種まき作業、稲刈り作業などを、三十坪の受入家庭では、栗拾いや芋掘り、虫取りなどを、それぞれ体験されました。夕方からは、参加者と受入家庭の共同で夕飯をつくり、楽しいひと時を過ごされました。



▲地域の方々との楽しい交流もありました！

力を活かした楽しい体験となりました。

参加者からは、「時間がゆつたりと流れて、のんびりと楽しいひと時を過ごすことができました」、「私が理想にしていた『田舎暮らし』を体験することができ、本当に感激しました」などの感想が寄せられました。



ある参加者は、受入家庭とお別れの際、「言葉ではうまく言えないけれど、貴重な経験をさせてもらい、心から感動しています。また、必ず来ます！」と涙を浮かべておられました。

日野町での日常の作業や行事が、都会に住む方々にとっては、新鮮で魅力的に映っているということが改めて確認することができました。そして、双方に感動が残ったことが何よりもの「秋の実りの収穫」でした。

農業体験

10月19日に花の郷日野夕リア園で、11月2日には鎌掛3区夢遊楽会で、「原産日野菜体験」を行いました。体験者は両日で46名。



▲さくら漬けづくりの様子 (NPO法人日野ダリア園)

遠くは大阪からの参加者もあり、原産の日野菜の収穫作業とさくら漬けづくりを体験されました。

参加者からは、「我流で日野菜を漬けていたけれど、本場の漬け方を学ぶことができ、本場の日野菜に触れ、子ども達の心身にホンモノを焼き付けておきたい気持ちが強くなった」、「地元の人との交流で、本当に心温まる体験となった」などの声が聞かれ、原産日野菜を活用した素晴らしい感動体験となりました。



▲日野菜の洗浄作業を体験 (鎌掛3区夢遊楽会)

民泊受入家庭を募集します！

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会では、平成22年度での体験教育旅行（修学旅行）の受入を目指して、民泊50軒を目標に、受入家庭を募集します。

子ども達など日野を訪れる人々との交流を通して、地域、生業、そして、自身の自信と誇りを回復するために、ぜひ、ご連絡ください。

日野町在住の方であれば、どなたでも応募いただけます。協議会事務局まで、

- ①ご住所
- ②お名前

③連絡先

を電話、ファックス、メールにてご応募ください。

農家、非農家は関係ありません。日野を訪れる人々を、「おいでやす！」と迎えていただけるご家庭なら、どなたでもご応募いただけます！

民泊受入家庭応募先

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会
(事務局：商工観光課 商工観光担当)

☎ 026562 有線08965

FAX 022043

E-mail : kankou@town.shiga-hino.lg.jp

